

署内意見発表会を開催

令和6年2月9日（金）、消防本部多目的室にて署内意見発表会を開催し、各署所の代表者6名が日々の職務を通じて体験したことについての教訓や抱負、提案等の発表を行いました。

この意見発表会は4月12日に新上五島町で開催される第47回長崎県下消防職員意見発表会の選考を兼ねており、選考の結果、崎田士長が出場することに決定しました。

崎田士長は、九州北部豪雨による緊急消防援助隊としての派遣や、日々の救急活動の経験から日常が突然壊される非日常を目の当たりにし、人命救助を担う者として折れない気持ちが大切であると考えました。救いの手を待つ人、大切な人のため、決して諦めないという気持ちが知識・技術の向上や消防職員としての成長に繋がり、災害や不慮の事故に対応する備えに繋がる。突然の非日常に、折れない気持ちを備え闘っていきたいと発表しました。

